

年中だより

【いらっしゃいませ、ジュース屋さんです】

お花でジュースを作るのが大好きな子どもたち。保育室前にすり鉢やすりこぎを用意すると、好きな色の花を選んでジュースを作り始めました。いろいろな色の花を入れる子、イチゴジュースを作ろうとピンク色の花を入れる子、お水をすり鉢いっぱいに入れる子など様々な姿が見られました。「コーラみたいな色になった!」と話したり、できたジュースを教師に飲んでもらうことを喜んだりする姿があります。

ある日、机の上にア리가やってきたのを見付けると、「いらっしゃいませ、何味のジュースにしますか?」「今日のおすすめはぶどうジュースです」などお店屋さんのようにアリに話しかける姿が見られました。また、「これはキャラメル味です」「甘くておいしいですよ」などと友達とやり取りすることを楽しむ姿も見られます。

引き続き色が変わる不思議さやお店屋さんごっこをする楽しさを感じられるようにしていきたいと思えます。また、砂場での泥遊びやこれから始まる水遊びなど水に触れる心地良さも味わっていききたいと思えます。



【ぼくはこうしたい!】

プラレールでは直線、カーブ、複線などの形の異なるレールを丸くつないだり長くつないだりなど日によっていろいろな線路を作っています。ミニカーの道と組み合わせたり鉄橋を使って高くしたりなどイメージが広がってきて面白いです。友達と一緒に遊ぶながらも、それぞれが思い思いにつないでいるため「ここは駅にするの!」「やだ! 車庫にするから!」「どいてよ、通れないよ」「ぼくはこうしたいもん!」と思いがくい違うことがあります。そんなときは教師が間に入り、言葉にはならなかった具体的な思いを聞きとり、「Aちゃんはこれがいいんだね。Bちゃんはこっちがいいんだもんね」と話をしていきます。先生に分かってもらい気持ちが落ち着くと「後で代わってね」「次はここ駅ってことでいい?」と順番でしようと気持ちを切り替えられるときもあります。

幼稚園にミニSLが来た後、SLごっこをしたくなるだろうと予想して、段ボールで作ったSLを用意しました。駅で待っているCちゃんに、Dちゃんが「乗っていいよ」と声を掛けましたが、Cちゃんは何も答えませんでした。教師が「Cちゃん、SL来たよ」と言うと、Cちゃんは「だって運転手がいいもん」と言いました。Dちゃんはそれを聞くと、「だめ!」とSLに乗って行ってしまいました。Dちゃんが1周して帰ってきた後、教師が「終点、ゆり組駅です」と声を掛けると、Dちゃんは、「車庫に入ります」とSLを降り、駅の椅子に座りました。教師が「Dちゃん、代わってくれるの?」と言うと、Dちゃんは「うん、次はお客さん!」と答えました。

これらのように、先生や友達との触れ合いを楽しみながら遊んでいたかと思うと、思いのくい違いから、ぶつかることもあります。先生は双方の気持ちを受け止めたり、楽しい雰囲気をつくったりしながら、それぞれの子が気持ちを切り替え、にこにこ顔に戻れるように、相手にも思いがあることを感じられるように支えています。これからも自分の思いを出しながら先生や気になる友達と一緒に遊ぶ心地良さを感じられるようにしていきたいと思えます。